

ばんだいばし
萬代橋130周年記念シンポジウムを開催します

本年は、初代萬代橋（明治19年完成）が架橋されてから130年を迎えます。

「萬代橋130周年事業実行委員会」では、11月12日（土）にメディアシップにて萬代橋130周年記念シンポジウムを開催します。

萬代橋を生かし守りつづけるために私たちができること、新潟の街と萬代橋、そして未来について一緒に考えませんか。

萬代橋130周年記念シンポジウム

「萬代橋とにいがた 誇りを未来へ」

日時：平成28年11月12日（土）13時から

場所：新潟日報メディアシップ 2階日報ホール
新潟市中央区万代3-1-1

定員：200名（応募による）

同時開催：
・萬代橋130年フォトコンテスト授賞式及び受賞作品展
・萬代橋歴史パネル展

※詳しくは、別添チラシをご覧ください。

※ 萬代橋130周年ホームページ

URL：<http://www.2159.go.jp/bandaibashi/index.html>



お問い合わせ先

■萬代橋130周年事業実行委員会 事務局

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課長 福島 晶子(ふくしま あきこ)

電話 025-244-2159(代表) FAX 025-246-7763

【萬代橋130周年事業実行委員会】 新潟国道事務所、新潟県、新潟市、新潟日报社

新潟国道事務所

みなみささぐち
〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>



にいこく 検索

かわら版「にいこくひろば」はじめました！
ホームページトップのバナーから





萬代橋 BANDAI BRIDGE
130th Anniversary
130周年

参加者募集中
参加無料

定員 | 200人

五姓田芳柳筆「新潟萬代橋」図
(新潟市歴史博物館 みなとびあ所蔵)



萬代橋とに 誇りを未来に いきた

萬代橋130周年記念シンポジウム

130年前、二つの町を隔てていた信濃川に一本の橋が架かりました。
以来3代にわたって、まちと人を結び、その発展を支え続けてきた萬代橋。
美しさと風格、さらに強さをも併せ持つ姿は、市民の誇りとなりました。
萬代橋を生かし、守りつづけるために私たちができること、そして橋がつなぐ新潟の未来について、一緒に考えましょう。



第1部 > 特別講演「土木観光と萬代橋 ~インフラツーリズムで新潟の魅力発信~」

中根 裕さん(JTB総合研究所 主席研究員)

第2部 > パネルディスカッション「萬代橋と新潟の未来」

パネリスト(予定) > 野内隆裕さん(路地連新潟代表) / あおいさん(古町芸妓) / 古木岳美(新潟市副市長) / 大江真弘(新潟国道事務所長)

コーディネーター > 大塚清一郎(新潟日報社論説編集委員)

同時開催

萬代橋130周年フォトコンテスト
受賞作品展

11月12日(土)9:00~17:00

新潟日報メディアシップ1Fみなと広場

※シンポジウムの冒頭で、受賞者の表彰を行います。

後援/一般社団法人 北陸地域づくり協会

協力/株式会社 新潟フジカラー、新潟市漆器同業組合

2016年11月12日(土) 13:00~16:10(予定)

新潟日報メディアシップ2F 日報ホール

主催 > 萬代橋130周年事業実行委員会(新潟国道事務所、新潟県、新潟市、新潟日报社)

お問い合わせ先 萬代橋130周年事業実行委員会事務局(新潟日报社広告部内) TEL 025-385-7432(平日9:30~17:30)

出演者(予定) >



中根 裕さん
JTB総合研究所
主席研究員

1951年東京都生まれ。1976年財団法人交通公社に入社。2001年ツーリズム・マーケティング研究所主席研究員、2005年同取締役。組織改編により2012年から現職。観光の視点から地域の活性化や事業計画策定などに取り組むプロジェクトコーディネーター。



野内 隆裕さん
路地連新潟代表

新潟市中央区下町生まれ。「新潟の町・小路めぐりマップ」等の制作に携わる。また「みなとまち新潟・進化する日和山物語」プロジェクトに参加。グッドデザイン賞、まちづくり功労者国土交通大臣表彰など受賞。7月放送のNHKプラタモリ#新潟案内人。



あおいさん
古町芸妓

新潟市東区に生まれる。「ふるまち新潟をどり」を見たことがきっかけで、高校卒業後柳都振興株式会社に入社、古町芸妓に。2015年4月、独立。新潟のまちを訪れる人をもてなし、200年の歴史を誇る艶やかな伝統文化を守り続けている。



古木 岳美
新潟市副市長

1960年北海道生まれ。1985年建設省(現国土交通省)入省。福岡市土木局長、国土交通省都市・地域整備局街路交通施設課整備室長、鹿児島市副市長、独立行政法人都市再生機構都市再生部全国まちづくり支援室長などを経て、2015年より現職。



大江 真弘
北陸地方整備局
新潟国道事務所長

1974年京都府生まれ。1999年建設省(現国土交通省)入省。2003年道路局企画課構造基準係長。2009年道路局道路交通安全対策室課長補佐など、道路関係の施策に多く従事。2012年5月に気仙沼市副市長に就任し、東日本大震災からの復興事業に尽力。今年4月より現職。



コーディネーター
大塚 清一郎
新潟日報社論説編集委員

1966年東京生まれ、長岡市育ち、中央大卒。1989年新潟日報社入社、本社報道部、東京支社報道部長などを経て現職。1990年に萬代橋の12回連載記事を担当。

お申し込み方法 >

参加希望者全員の①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、はがき・FAX・E-mailいずれかでお申し込みください。

応募者多数の場合は抽選とし、当選者に聴講券を発送します。

●はがき
〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報社広告部

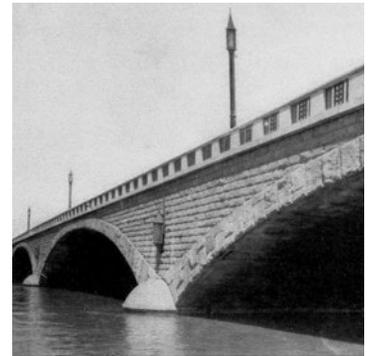
●FAX
025-385-7476

●E-mail
bandaibashi130@niigata-nippo.co.jp

いずれも「萬代橋シンポジウム」係と明記してください。

締切 10月31日(月) 必着

※お送りいただいた個人情報、本事業(お申し込みに関する確認、聴講券の発送など)にのみ使用します。



申込書

萬代橋130周年記念シンポジウム

萬代橋130周年記念シンポジウムに参加を希望します。
申込日 年 月 日

住所 〒	—		
氏名		年齢	歳
電話番号	()		
住所 〒	—		
氏名		年齢	歳
電話番号	()		
住所 〒	—		
氏名		年齢	歳
電話番号	()		

FAXを
ご送信ください
FAX 送信先 025-385-7476 新潟日報社広告部
※4名以上の場合は、用紙を改めてお申し込みください。